

第63回 秋田県消防大会



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二十二年度全国統一防火標語
「消したかな」 あなたを守る 合言葉

第六三回秋田県消防大会は六月二六日(土)、由利本荘市の本荘文化会館で、秋田県副知事堀井啓一様、秋田県議会副議長小田美恵子様など多数のご来賓を迎え、県内消防関係者六〇〇名が参加して開催された。

大会は、殉職消防職・団員への黙とう、国歌斉唱で始まり、続いて中泉松之助秋田県消防協会長、開催地である由利本荘市長谷部誠市長がいさつした後、堀井副知事、小田副議長から祝辞をいただき、消防庁長官のメッセージが披露された。

平成二二年度消防功労者(優良事業所)表彰では、従業員が消防団員として相当数入団しているなど消防団活動に協力している由利本荘市の株式会社秋田新電元など一二事業所に知事賞が授与された。

第六回消防団員意見発表会は、各支部から選出された九名の団員が、日頃の消防団活動を通じ感じた事柄や経験した事例などを基に、これからの消防団活動に対する提言等を行った。発表された意見は、「消防秋田」八月一五号から順次紹介する。

象潟九十九島太鼓が勇壮なバチ捌

きで「海鳴り」「象潟」などを披露した後、地元由利本荘市在住のタレントあべ十全様は「一日一善、十日で十全!みんなを守ろう、火の用心」をテーマに講演され、軽妙な語り口で参加者に笑いと感動を与えた。

大会宣言をにかほ市消防団板垣英雄団長が、また、次回開催支部あいさつを鹿角市消防団黒澤文男団長が行い、最後に秋田県消防のうた「われら あり」を斉唱して第六三回秋田県消防大会は幕を閉じた。

会場の外には、本荘由利支部の企画により、消防大会としては初めての試みとなる化学消防ポンプ車の展示や地域特産の販売コーナーなどが設けられ、大会に参加した多くの市民や消防関係者で賑わっていた。





あいさつ(要約)

秋田県消防協会長

中泉松之助

本日は、多くのご来賓のご臨席を賜り心から御礼申し上げます。ここで当協会の当面の活動方針について若干申し上げます。先ず、公益法人制度改革については、公益性を一層高め、効率的な運営を推進するため、代議員制や支部制を廃し、替わりに評議員制、地

域消防団体を設置することとしていきます。二点目は罹災互助会事業の見直しですが、従来の罹災見舞金に結婚祝い金を加え、名称も消防互助会と改めることとしていきます。三点目は二四年度の全国女性消防団員活性化大会についてですが、是非秋田で開催したいので皆様のご協力をお願いします。本日は優良事業所知事表彰も行われますが、受賞される事業所には、今後とも消防団活動に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。開会のあいさつとします。



祝 辞(要約)

秋田県副知事

堀井 啓一様

秋田県消防職・団員二万余名の士気高揚と自治体消防の発展を目的として秋田県消防大会が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。さて県では、新たな団員確保や消防団活動の活性化に向けて、機能別消防団員・機能別分団の導入

や消防団員の活動しやすい環境づくり、さらには事業所と消防団の協力体制の構築に取り組んでまいります。また、平成二四年度全国女性消防団員活性化大会は消防協会や秋田市などと協働して本県で開催したいと考えています。本日は優良事業所を表彰させていただきますが、そのご協力に對し改めて厚く感謝申し上げますとともに、本でご参会の皆様のご活躍を心からお祈りしお祝いの言葉とします。



開催地あいさつ(要約)

由利本荘市長

長谷部 誠様

本日、ここ由利本荘市において、多数のご来賓の皆様と、全県から多くの消防団員をお迎えして、第六三回秋田県消防大会が開催されるに当たり、開催市を代表し、歓迎のあいさつを申し上げます。現在、少子高齢化や就業構造など社会環境の変化を受けて、全国

的に消防団員数は減少しており、地域防災力の低下が懸念されております。本市においても同様であり、防災力の担い手を確保するため、機能別団員を導入するなど消防団の更なる充実を目指しているところであります。消防団員の皆様が、地域の総合的な防災の中核として、より一層ご活躍されますとともに、本大会が、自治体消防の発展に寄与されますよう切にお願い申し上げます。歓迎のあいさつとします。



祝 辞(要約)

秋田県議会副議長

小田美恵子様

第六三回秋田県消防大会が関係者多数のご出席のもと、このように盛大に開催されましたことを、県議会を代表いたしましたして、心よりお喜び申し上げます。昨年度に続いて、本大会に参加させて頂き、皆様方の消防団に對する熱い思いを強く肌で感じ、こ

れからも県民が真に求める安全・安心な生活が守られていくものと、誠に心強く思いました。私ども県議会といたしましても、皆様の思いを受け止め、地域の「安全・安心」を守るために不可欠な消防団活動の充実・強化につきまして、引き続き関係者に現状を訴え、積極的な議論を行って参りますので、皆様方におかれましても、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

第6回消防団員意見発表会

この意見発表会は、消防団員が日頃の消防団活動で感じた事柄や経験した事例などの発表を通じ、消防活動のあるべき姿や消防人としての役割を再認識し、これからの活動をより充実したものにすることを目的に平成17年度から実施している。

今回も、各支部から選出された9名の団員が意見を発表した。なお、女性消防団員の発表は、秋田市で開催した第61回大会の鹿角市消防団安保千夏団員に次いで秋田市消防団の能登谷綾子団員が2人目となる。



発表者とテーマ

畠山 孝将	由利本荘市消防団 団員	「伝承(ひきつぐ)」
中野 龍太郎	美郷町消防団 分団長	「私にとっての消防団 そして未来へ」
佐々木 康広	横手市大雄消防団 団員	「小型ポンプ操法で親父超えを」
高橋 政介	湯沢市消防団 副分団長	「指揮者として」
斉藤 洋	鹿角市消防団 班長	「地域とともに」
藤原 和美	大館市消防団 部長	「防災は訓練と共に」
高橋 修	能代市消防団 分団長	「消防団を10倍楽しむ方法」
菊地 栄一	潟上市消防団 分団長	「団員の融和」
能登谷 綾子	秋田市消防団 団員	「操法大会から得たもの」

平成22年度 消防功労者(優良事業所)知事表彰

優良事業所表彰は平成9年度から実施され、受賞事業所は今年度の12事業所を加え124事業所となった。表彰される事業所は、相当数の消防団員が在職し、地域の消防活動に積極的に取り組んでいるなど多年にわたって地域の消防団活動に貢献してきたのが評価されたもの。受賞を機に、今後ますますの消防団活動へのご協力をお願いします。



受賞事業所名簿

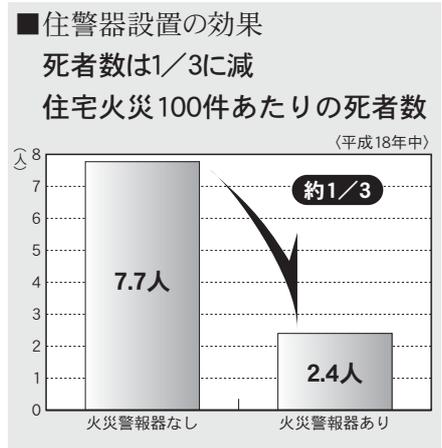
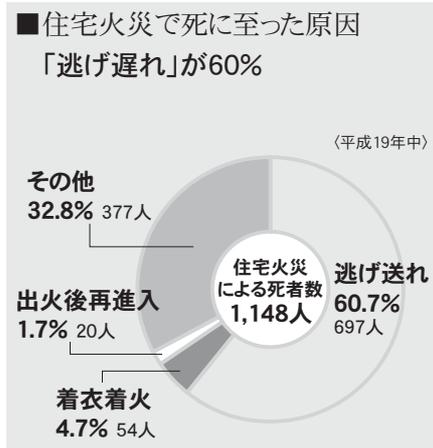
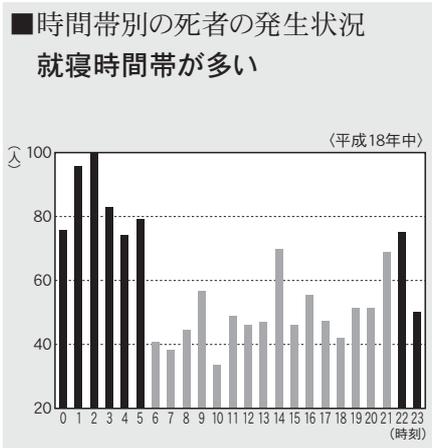
事業所名	従業員・消防団員数
(株)秋田新電元 由利本荘市	従業員数 766名 消防団員数 74名
山科建設(株) 由利本荘市	従業員数 114名 消防団員数 11名
菊地建設(株) 由利本荘市	従業員数 98名 消防団員数 14名
秋田ルビコン(株) 由利本荘市	従業員数 289名 消防団員数 24名
矢島小林工業(株) 由利本荘市	従業員数 364名 消防団員数 25名
ハタリキ(株) 鹿角市	従業員数 30名 消防団員数 6名
(株)マルコ産業 美郷町	従業員数 20名 消防団員数 6名
(株)沢野建設 美郷町	従業員数 33名 消防団員数 4名
(株)小田島工務店 美郷町	従業員数 30名 消防団員数 3名
大和建设(株) 美郷町	従業員数 44名 消防団員数 3名
(株)東翔 横手市	従業員数 30名 消防団員数 6名
JUKI電子工業(株) 横手市	従業員数 570名 消防団員数 34名

住宅用火災警報器 設置しましたか？

＝住宅用火災警報器は、早期に火災の発生を感知し、あなたに知らせます＝

住宅火災による死者数（放火自殺者等を除く）は、平成15年から連続して1,000人を超えています。また、同死者数の約6割が65歳以上の高齢者であり、今後の高齢化の進展に伴い、さらに増加するおそれがあることなどから、全ての住宅に住宅用火災警報器（以下、「住警器」という）の設置・維持を義務付ける法制度が整備されました。

これにより、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年5月31日までに設置が必要となりました。



(注)総務省消防庁資料

住警器の奏功事例

住警器が作動し、大事に至らなかった例を、秋田市消防本部の資料により紹介します。

<p>ぼや火災(平成19年6月)</p> <p>共同住宅(秋田市寺内)</p> <p>トイレの換気扇モーターの過熱により出火し、台所の熱感知機が発報した。</p> <p>隣棟居住者が警報音を聞き、音のする方を見たところ、出火室の窓から煙が漂っているのを発見したもの。</p>	<p>非火災(平成20年7月)</p> <p>共同住宅(秋田市外旭川)</p> <p>鍋で魚を煮ていたところ、居眠りをしてしまい鍋の中の魚を焦がしたもので台所の熱感知器が発報した。</p> <p>隣室居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー火事です火事です」という警報音を聞き119番通報したもの。</p>	<p>非火災(平成20年11月)</p> <p>共同住宅(秋田市手形)</p> <p>鍋で食品を温めたまま居眠りをしてしまい、鍋の中の食品を焦がしたため居室と寝室の煙感知器が発報した。</p> <p>上階の居住者が焦げくさい臭いと「ピーピー」という警報音を聞き119番通報したもの。</p>
<p>ぼや火災(平成20年11月)</p> <p>長屋(秋田市新藤田)</p> <p>枕もとに置いていた電気コンロに鍋をかけたまま就寝したため、布団が電気コンロのヒータに接触し出火したものと推定。</p> <p>現場付近を通りかかった者が、住宅用警報器が鳴動していたのに気づいたもの。</p>	<p>ぼや火災(平成21年5月)</p> <p>共同住宅(秋田市将軍野)</p> <p>就寝中に、居室内に設置している住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所に置いてあった座布団が燃えているのを発見した。</p> <p>新聞配達員が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、持っていた携帯電話で119番通報した。</p>	<p>ぼや火災(平成21年7月)</p> <p>住宅兼店舗(秋田市下北手)</p> <p>屋外で植木鉢に水を掛けていた時に住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、台所へ行ったところ、ガステーブル上のフライパンから炎が出ているのを発見した。</p>

住宅用火災警報器設置推進本部を立ち上げ

秋田市消防本部

秋田市消防本部では六月一日、住宅用火災警報器(以下、「住警器」という)の設置義務期限まで後一年を切るのを機に、「住警器設置推進本部(本部長 佐藤賢治秋田市消防長)」を立ち上げた。

同日、秋田市役所の前庭で開催された推進本部設置イベントでは、幼年消防クラブや一般市民が約二〇〇名参加し、来年五月三十一日までに全ての住宅が住警器を設置するよう呼びかけた。



イベントでは最初に佐藤本部長が「住警器は火災を早期に発見し、被害を軽減するとともに逃げ遅れによる犠牲者を出さないためにも

大変有効なものである。秋田市では、この推進本部を中心に、より効果的な普及啓発を推進し、来年の六月一日の完全設置義務化までには、全ての住宅に住警器を設置し、火災による死者がゼロとなるよう努力する」とあいさつした。

続いて、幼年消防クラブの「四ツ小屋幼稚園」年長組と「仁井田幼稚園」年中組の園児が元気に演奏や歌

を披露し、会場に集まった父さんや母さんらに「住警器は音で火災を知らせ、私たちが火災から守ってくれます。取り付けも簡単です。早めに設置して下さい」と呼びかけた。

最後に、佐藤本部長の号令で、消防車輛による住警器普及促進パレード隊が市内に向け出発した。

推進本部では、住警器の設置率についておよそ



消防 半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺田染工場

横手市清川町 ☎32-0416

四四%と推定し、また地域間に大きな開きが見られると分析している。

このため、推進本部の活動としてはイベントの開催などの広報活動や市内の協議会や団体等との連携を強化する一方、各消防署に住警器設置促進戦略本部を設置し、市民からの相談窓口を設けるほか消防署独自の普及促進事業を展開するなど、よりきめ細やかな対策を講ずることとしている。

パレード隊の出発

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ 総合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高義商会

(営業種目) トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

日本機械自動車ポンプ	キンパイホース
トーハツポンプ	シバウラポンプ
各種消防機械器具	各種消火器
消防設備保守点検	

ホームページ <http://www.17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

女性隊員が初の出場…… 消防救助技術秋田県大会

第三九回消防救助技術秋田県大会（主催：秋田県消防長会）は六月二八日、二九日の両日開催された。二八日は「水上の部」が秋田市向浜の県営プールで、また二九日には由利本荘市の秋田県消防学校で「陸上の部」がそれぞれ行われた。「水上の部」には七消防本部から二二名が、「陸上の部」には一三消防本部から五九隊二一九名が出場し、日頃鍛えた救助技術を競った。（大会の様子は秋田県消防協会HPに掲載しています。）

「陸上の部」では、佐藤賢治大会会長（秋田市消防長）が「ここに立つまでの間、多くの苦しい時間を乗り越えてきたと思う。また多くの仲間への支えがあったことを忘れてはならない。その感謝の気持ちを胸に今まで培ってきた実力を遺憾なく発揮



して下さい。剣道の言葉に『鍛練千日勝負一瞬』というのがある。悔いのないよう競技して下さい」とあいさつした後、能代山本広域市町村圏組合消防本部佐藤崇宏消防司令補が宣誓し、訓練が始められた。

訓練は、「はしご登はん」「ロープブリッジ救出」など六種目が行われ、同大会に女性隊員として初めて出場した大曲仙北広域市町村圏組合消防本部佐々木華織消防士と湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部柴田華消防士がともに出場した「はしご登はん」では、二人とも一〇〇点満点を獲得した。競技後、佐々木隊員は「ロープ結索で焦ってしまったが後半は落ち着いてできた。将来はポンプ車を運転したい」と、また柴田隊員は「非番や夜勤明けに練習してきたが自己ベストに及ばず残念。男性と互角とはいかないが将来的には現場に行けたら」と話していた。

全国大会・東北指導会出場隊

〔全国大会〕 (1) 陸上の部

項目名	消防本部名	隊員(チーム名)
ロープブリッジ渡過	北秋田市	近藤大斗
はしご登はん	にかほ市	齋藤直哉
ほふく救出	能代山本広域	夏井チム
ロープ応用登はん	大曲仙北広域	木元チム

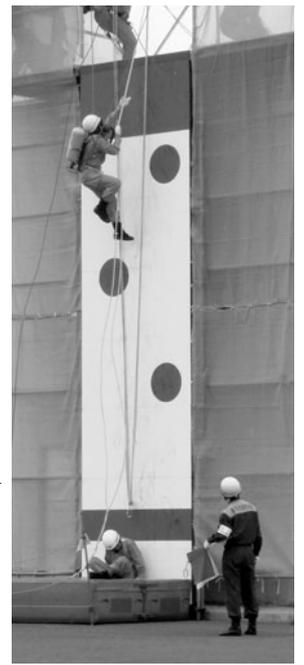
〔東北指導会〕 (1) 陸上の部

項目名	消防本部名	隊員(チーム名)
引揚救助	秋田市	渡部チム
	北秋田市	鈴木チム
	鹿角広域	木村チム
ロープブリッジ救出	大曲仙北広域	伊藤チム
	大曲仙北広域	高橋チム
	男鹿地区	西方チム
障害突破	秋田市	石川チム
	横手市	高階チム

(2) 水上の部

項目名	消防本部名	隊員(チーム名)
基本泳法	大曲仙北広域	佐藤玲緒
	秋田市	吹谷謙
	秋田市	大嶋明
	由利本荘市	工藤哲
複合検索	秋田市	佐々木雄
	秋田市	渋谷嘉
	秋田市	佐々木
溺者搬送	横手市	新宮チム
	能代山本広域	武田チム
水中結索	湯沢雄勝広域	永井チム
	横手市	新宮チム
溺者救助	にかほ市	佐々木チム

日沼一之審判長（能代山本広域市町村圏組合消防長）は「二人は男性隊員と互しても遜色なく、順位も中位を収めている。今後も訓練に励んでもらいたい」と期待を寄せていた。大会終了後行われた秋田県消防長会議で、全国大会と東北指導会に出場する個人・チームが選考された。



■全国大会〔陸上・水上〕

平成二二年八月二七日
京都市

■東北指導会

〔陸上〕平成二二年七月二九日
岩手県消防学校
〔水上〕平成二二年七月一五日
宮城県総合プール

第六四期初任教育 秋田県消防学校

初任教育第六四期学生は、この度課外活動の一環としてミニ新聞第一号を作成した。今月は、このミニ新聞に掲載された総代、副総代、会計の意気込み、抱負を紹介する。



総代
秋山 剛
湖東地区行政一部
事務組合消防本部

四月七日、秋田県消防学校史上最多人数の八五名が色々な思いを馳せて県内一三消防本部から集まった。

八五名それぞれ目標は違うが、「地域住民の安全を保持し安心を与えられる存在」である消防士としての使命を共有すると同時に、「消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努める」と宣誓したことを忘れて、九月一七日の修了式を迎えるまで八五名全員で知識技能の修得と錬磨に励んでいきたい。また、チームワークも養っていきたい。

第六四期メンバーへ
この一期一会の出会いを無駄にすることなく九月一七日には一つの達成感と八五人の笑顔で帽子投げができるよう頑張っていこう！



副総代
石田 伸一
大館市消防本部

四月九日の入校式で佐竹知事を始め関係の方々から激励の言葉を頂き、全員が消防精神を胸に刻みこみました。私たち六四期生は八五名。過去最多の在所帯ではありますが、この初任教育で出会えた仲間は、一生の宝物になると思います。

まだ始まったばかりで、身に付けなければならぬことが多くあります。教わる内容はそのどれもが重要で、現場では必ず使うことになるので反復練習を心掛け、一人一人が教わったことを全て自分のものにできるように頑張っていると思います。

そして、卒業する頃には即戦力として認めてもらえるよう、また各所属の先輩方のように信頼される立派な消防士になれるよう、この八五名の仲間全員が一丸となって頑張っていきたいと思えます。



副総代
谷口 慎哉
大曲仙北広域市町村
圏組合消防本部

第六四期八五名は、四月九日の入校式を経て消防士としての長い人生のスタートを切りました。初めての訓練に戸惑いを感じながらも同じ志

を持つ仲間と共に一生懸命頑張っています。

毎日の訓練や座学で知識や技能を修得することはたくさんあり、その内容の多さに驚きを感じてはいますが、仲間と共に辛いときは共に悔しがり、励まし合いながら生活し、楽しいときは大いに笑いあいながらチームの絆を深めていきたいです。一人では乗り切れないことでも仲間と一緒になら何でも乗り越えられるはず。一生の財産となる最高の思い出と仲間を築き、九月一七日に全員笑顔で修了式を迎えられるよう日々頑張っていきたいと思えます。



副総代
会 計
藤澤 昌幸
秋田市消防本部

私が消防学校に入校して、何故この消防学校に入校するのか、我々学生にとってこの消防学校で何を学ぶのかということに改めて考えさせられた。入寮初日、教官から身だしなみや態度について厳しいお言葉をいただいた。また、私たちが、学校で生活し学習をする為の経費は、全て県民の税金で賄われていることを自覚すること、公務員とは、消防職員とはどう在るべきかと常に自問自答をするように教わった。消防職員にとって現場では、一つの失敗が命取

りになるだろう。何が起ころうと冷静に対応できる知識や技術を身につける必要があると思う。さらに、寮生活を通じて集団行動の大切さ、連携の取り方も学んでいくのだと思う。私たちは、一人でも多くの命を火災から守りたいと考えている。そして何よりも市民の皆から頼りにされる消防官を目指し、一日一日精進していきたい。



副総代
会 計
鈴木 陽
由利本荘市消防本部

我々第六四期生は、秋田県消防学校初任教育課程の歴史上最高の生徒数ですが、一ヶ月も経つと、学校生活にも自然と調和し、今では八五人全員が良きライバルでもあり、暖かい家族のようにも思えます。

私達の使命は命を守ることです。これからは更に実践的になり、覚えることも山のようにありますが、所属に戻っても、即戦力として先輩方と働ける力を身に付けなくてはなりません。その為に一日一日、一分一秒を無駄にせず、仲間同士助け合いフォローしながら壁を乗り越える事が私達の課題です。

九月一七日、八五人の最高の仲間と共に、全員笑って卒業し、立派な消防士になってみせます。

平成22年度 秋田県消防操法大会支部大会日程

支 部 名	開催月日	開 催 場 所
鹿 角	7. 4(日)	鹿角市役所駐車場
大館北秋田	7. 25(日)	大館市 比内グラウンド
能代市山本郡	8. 1(日)	能代港下浜岸壁埠頭
男鹿潟上南秋	7. 25(日)	サンルーラル大潟駐車場
秋 田 市	7. 11(日)	秋田市消防訓練場
本荘由利	7. 24(土)	にかほ市消防庁舎前広場
大仙市仙北市 美郷町	7. 17(土)	大仙市 雄物川運動公園
横 手 市	8. 1(日)	山内小学校グラウンド
湯沢市雄勝郡	7. 24(土)	湯沢市 松ノ木グラウンド

支部消防操法大会始まる

〓全県大会出場を目指して〓

第四十七回秋田県消防操法大会は、来る九月二日(木)、由利本荘市の秋田県消防学校で行われる。

この全県操法大会への出場を目指して、それぞれの支部操法(訓練・競技)大会が、鹿角支部の七月四日(日)を皮切りに順次開催される。

団員の皆さんには、日頃鍛えし技を存分に発揮されますことを期待したい。

支部情報アラカルト

二つの起爆剤

〓秋田市消防団〓

地域防災の中心的役割を担っている消防団員の数は、全国的に年々減少していますが、秋田市もまた例外ではありません。秋田市では団員の確保、団員の若返りを図るために次の二つの事業に期待しています。

「消防団協力事業所表示制度」

団員の八割以上が被雇用者であることから、消防団活動に対する事業所のご理解とご協力がとても重要です。そこで地域防災体制の一層の充実を図るために秋田市では「秋田市消防団協力事業所表示制度」を推進し、現在八八事業所を協力事業所として認定しています。

団員として相当数入団している事業所や消防団活動に配慮している事業所を、表示証やホームページで広く公開することで、事業所のイメージアップにつながります。

「女性消防団員の活躍」

現在一三名の女性消防団員が所属しています。

全員が応急手当普及員講習を受け、講義のみならず、火災予防だけでなく、救急分野での活躍にも



司会進行をする女性団員

力をいれています。

また、昨年、全国女性操法大会へ出場したことで、新聞・テレビ等からの取材も増え、秋田市消防団をアピールしています。

今年度は女性団員を五名採用予定であり、さらに躍進します。

〔情報提供〓秋田市支部〕

火災の発生状況

〓速報値〓

(秋田県総合防災課調べ)

	平成22年		平成21年			同期比較	
	6月	累計	6月	累計	年計	6月	累計
建 物	24	128	19	125	236	5	- 3
林 野	5	12	9	43	46	- 4	-31
車 輛	1	11	2	17	44	- 1	- 6
その他	7	34	8	78	97	- 1	-44
合 計	37	185	38	263	423	- 1	-78
死者数	0	11	3	20	36	- 3	- 9
負傷者数	8	26	4	22	46	4	4

■事務局休みのお知らせ

今年のお盆休みは八月一三日(金)から十六日(月)までとし、協会事務局を休ませていただきますので、よろしくお願いいたします。

森田ポンプ ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
各種消火器 消防機器一式

株式会社 協 立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防

ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備

火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651